

# 委託事業実施内容報告書

## 平成20年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業

### 【退職教員を対象とした日本語指導者養成】

受託団体名 株式会社 江戸カルチャーセンター

#### 1 事業の趣旨・目的

文部科学省「日本語指導が必要な外国人児童生徒の受け入れ状況に関する調査(平成 19 年度)」によると、日本語指導が必要な外国人児童生徒数…25,411 人(平成 18 年度 22,413 人)、受け入れ公立校…5,877 校(平成 18 年度 5,475 校)、内訳 小学校 18,142 人、中学校 5,978 人、高等学校 1,182 人、中等教育学校 25 人、特別支援学校 84 人である。このように、年少者への日本語指導の需要が年々高くなる傾向がある。

しかし、その一方で、これから十何年間で教員の大量退職が続く。退職者の多くが、退職後も教育の現場に携わりたいという希望を持っている。このような現状から、特に各地でニーズが高まっている年少者への日本語・学習支援に役立つ人材として活躍するきっかけとなる講座が必要ではないかと考えた。そこで、当校では、退職教員の豊富な教育経験を活用しながら、特に外国人年少者対象の日本語教育支援活動に役立つ態度、知識、技術を身につけさせることを趣旨とした講座を開講する。

講座では、言葉や勉強を上から‘教え込む’のではなく、外国人年少者をはじめとする個々の背景も考慮した上で、保護者や教師、ボランティア等と連携して‘一緒に考える’意識を育てることを目的とする。

#### 2 企画委員会の開催について

##### 【概要】

開催日時	開催場所	出席者	議題	会議の概要
12月22日 18:00~19:00	江戸カルチャーセンター	山田泉 春原憲一郎 木村哲也 中澤百百子 中澤進太郎	講座カリキュラムの作成 受講者募集方法の提案	講座カリキュラム案を作成。受講者募集方法について、どこに、どのようにアプローチをかけていくべきかを案を出し合った。
12月27日 18:00~19:00	江戸カルチャーセンター	山田泉 春原憲一郎	講座カリキュラムの確認 受講者募集方法の確認	講座カリキュラムの確認をし、受講者募

	ター	木村哲也 中澤百百子 中澤進太郎	指示	集方法について、どこに、どのようにアプローチをかけていくべきかを話し合った。
--	----	------------------------	----	--

【写真】(会議風景)



### 3 研修講座の内容について

- (1) 研修講座名 退職教員を対象とした日本語指導者養成
- (2) 研修の目標 日本語教師としての視野を広げる
- (3) 受講者の総数 21人
- (4) 開催時間数(回数) 40時間 (10回)
- (5) 参加対象者の要件・・・元教員、現在外国にルーツを持つ子どもたちの支援に関わっている方
- (6) 受講者の募集方法・・・親交があるボランティア団体への情報提供  
親交がある企業・団体への情報提供  
港区内の小・中学校長への情報提供
- (7) 研修会場

講義・・・江戸カルチャーセンターD 教室

(8) 使用した教材・リソース

担当講師が作成したプリント

(9) 講座内容

日時	講座名／学習内容	講師	受講者数
2月12日(木) 13:00～17:30	外国にルーツを持つ子どもたちの現状	石井恵理子氏 (東京女子大学現代文化学部教授)	18
2月18日(水) 13:00～17:30	出身地域別の事例 ～子どもたちの背景1～ ① 中南米 ② 韓国・朝鮮籍	富本潤子氏 (IAPE 外国人児童 生徒保護者交流会代表) 金 迅野氏 (川崎市ふれあい館)	15
2月19日(木) 13:00～17:30	出身地域別の事例 ～子どもたちの背景2～ ① 中国 ② 東南アジア	長江春子氏 (財団法人国際文 化フォーラムプログラム・オフィサー), 秋間恵美子氏 (元神奈川県立高校非常勤講師・ 小中学校日本語指導員)	14
2月25日(水) 13:00～17:30	第二言語習得理論の基礎	西原鈴子氏 (東京女子大学現代文化学部教授)	15
2月26日(木) 13:00～17:30	異文化トレーニング ～子どもたちの気持ちに近づこう～	村野節子氏 (武蔵野大学講師)	16
3月4日(水) 13:00～17:30	年少者への指導 ～中学校の日本語教室から～	小川郁子氏 (江戸川区立葛西中学校) 谷啓子氏 <コメンテーター> (練馬区教育委員会日本語指導講師)	16
3月5日(木) 13:00～17:30	年少者への指導 ～教え方のコツと工夫～	大蔵守久氏 (波多野ファミリースクール理事)	16
3月11日(水) 14:00～18:30	年少者への指導 ～小学校現場の巡回指導から～	今澤 悌氏 (甲府市立琢美小学校)	15
3月12日(木) 14:00～18:30	年少者への指導 ～教科指導とのつながり～	田中 薫氏 (大阪市立南中学校)	13
3月18日(水)	子どもたちの居場所づくり	山田 泉氏	15

13:00~17:30		(法政大学キャリアデザイン学部教授) 中津美和氏 (財団法人箕面市国際交流協会 事務局次長兼事業課長)	
-------------	--	--	--

## (10) 講座の評価

### ① 受講生に対するアンケート

当講座では、講座修了後、受講者対象に修了アンケートを行った。出席者は15名だったが、アンケートを提出した有効被験者は10名。無記名形式で行った。各項目別の結果は下記の通り。

<p>01. 講座の期間はいかがでしたか。</p> <p><input type="checkbox"/>短かった…2名   <input type="checkbox"/>ちょうどよかった…8名   <input type="checkbox"/>長かった…0名</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・内容が濃かったので短い印象もあるが。</li> <li>・このような素晴らしいお話のオンパレードはめったに聞けない。</li> <li>・集中的に週2回というのがよかった。</li> <li>・あっという間だった。</li> </ul>
<p>02. この講座をどこで知りましたか。(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/>江戸カルチャーセンターのHPで…0名</p> <p><input type="checkbox"/>江戸カルチャーセンターからのチラシ・DMで…0名</p> <p><input type="checkbox"/>所属団体のメーリングリストで…7名   <input type="checkbox"/>友人・知人の紹介で…3名</p> <p><input type="checkbox"/>講師からの紹介で…3名   <input type="checkbox"/>その他…0名</p>
<p>03. 講座に参加されて、よかったですか。</p> <p><input type="checkbox"/>とてもよかった…6名   <input type="checkbox"/>よかった…4名</p> <p><input type="checkbox"/>あまりよくなかった…0名   <input type="checkbox"/>よくなかった…0名</p> <p>理由：・日本語教育の現状を把握でき、かつ今後の指導に役立つ内容が多かった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感じている悩みや問題点が講師の方と共有でき心強い実践例が参考になった。</li> <li>・年少者向けの日本語教育の講習を受けていなかったので大変ありがたく存じます。</li> </ul>
<p>04. 特に役に立った講義は何ですか。(複数回答可)</p> <p><input type="checkbox"/>①「外国にルーツを持つ子どもたちの現状」石井恵理子氏…8名</p> <p><input type="checkbox"/>②出身地別の事例～子どもたちの背景&lt;中南米&gt;～ 富本潤子氏…4名</p> <p><input type="checkbox"/>②出身地別の事例～子どもたちの背景&lt;韓国・朝鮮籍&gt;～ 金迅野氏…4名</p> <p><input type="checkbox"/>③出身地別の事例～子どもたちの背景&lt;中国&gt;～ 長江春子氏…4名</p> <p><input type="checkbox"/>③出身地別の事例～子どもたちの背景&lt;東南アジア&gt;～ 秋間恵美子氏…4名</p> <p><input type="checkbox"/>④第二言語習得理論の基礎 西原鈴子氏…5名</p> <p><input type="checkbox"/>⑤異文化トレーニング～子どもたちの気持ちに近づこう～ 村野節子氏…7名</p> <p><input type="checkbox"/>⑥年少者への指導～中学校の日本語教室では～ 小川郁子氏 谷啓子氏&lt;コメンテーター&gt;…6名</p>

⑦年少者への指導～教え方のコツと工夫～ 大蔵守久氏・・・7名

⑧年少者への指導～小学校現場の巡回指導から～ 今澤悌氏・・・7名

⑨年少者への指導～教科指導とのつながり～ 田中薫氏・・・5名

⑩子どもたちの居場所づくり 山田泉氏、中津美和氏・・・8名

- ・仕事の関係で半分しか研修に出られませんでした。出席した講座はすべて内容が濃く何かしら新しい発見がありすべて役に立ちました。
- ・特にと言われてもすべて身にしみる貴重なレクチャーでした。
- ・内容が具体的ですぐ実践に役に立つ。
- ・日本語や教科支援以前に生活支援が必要な子供がどうかかわっていけばよいか悩みが尽きないが地域の中で懸命に頑張ってきた実践例が聞いたことがよかった。
- ・講義がそれぞれの場に応じて具体的にわかって意義深かったです。
- ・具体的な教材のヒント、授業の作り方が分かりやすかった。
- ・各先生方の豊富な経験からナマの声がたくさん拝聴できました。
- ・実際の指導ではなく、背景や子供の心理を知りたかったから。

05. 今回の参加目的は何でしたか。(複数回答可)

教室運営におけるスキル向上のため・・・3名

日本語を学ぶ学習者の現状を把握するため・・・7名

日本語教師として視野を広げるため・・・6名

日本語教育に携わる第一歩として・・・3名

ボランティア団体や知人に伝えるため・・・3名

生涯学習の一環として・・・0名

その他・・・1名 [これから協会職員として何ができるかを探するため ]

06. 受講して、当初の参加目的が、どのくらい達成されましたか。

ほとんど達成できた・・・0名 ある程度達成できた・・・10名

あまり達成できなかった・・・0名 全く達成できなかった・・・0名

- ・学んだものをこれからどう生かすか自分とどうしています。それができなければ達成とはならないと思います。
- ・自分の活動の方向性が見えてきた。つまり学校で孤立し不登校になる中学生が多い実態の対策として地域に居場所づくりをする必要性と作り方の方向性が分かったこと。
- ・今回都合で半分しか受講できなかったの。
- ・非常によかったのですが、私自身の知識、経験不足のため十分に理解吸収ができなかった点ももったいなくて残念です。
- ・外国につながる子供たちの問題については、今まで勉強も活動もしたことがなかったので、今回はまず知ることが目的だったため達成できたと思います。

07. 講義の内容で、今後活動に生かせそうなことは何ですか。

- ・小さなエピソードを含めすべて。

- ・具体的な教材を試すこと。
- ・子どもに寄りそう心をさらに強く持つこと。
- ・地域での居場所づくりを他のボランティア仲間と考えていくこと。
- ・教え方の工夫とコツ。
- ・子どもたちが置かれている現状の厳しさが想像以上で、それを踏まえて今後の現場での対応、学校や行政への働きかけをやっていくこと。

08. 講義の内容で、今後習得していかなければならないと思ったことは何ですか。

- ・行政とのかけあい
- ・日本語そのものの教え方と目の前の子どもに学習障害があるかを見極めるスキル。
- ・教える技術 教案の作り方 進め方
- ・日本語指導の系統性・ステップなど
- ・教室でのスキルアップ その進め方
- ・行動力
- ・子供支援に踏み出すパワー それを実行に移す実行力
- ・教科指導できるようになること

09. 講義の内容で活用しにくいと感じられたことは何ですか。

- ・実際の教え方

10. 今後どのような活動をしていこうと考えていますか。

- ・ボランティア活動
- ・子どもたちの日本語学習や生活面での支援
- ・ボランティアとして地域の外国人の子供に日本語を教えていきたい。
- ・子どもたちの居場所づくりができたと思っています。
- ・ボランティア団体に入り、みんなで情報を分かち合う。
- ・日本語支援者としてより一層、研究、経験を積み、学習者に還元する。
- ・子供支援を少しずつはじめる。

11. 今後どのような講座があったら、受講したいですか。

- ・各国の教育事情について日本生まれの日本育ちの子のケアで使いやすい教材などが知れる講座。
- ・日本語教材を実際にどのように教えるか。
- ・今回と同様の講座でも受講したいです。
- ・単発でできれば土曜日など参加しやすい形で子ども支援に関する講座。

12. 事務局の対応はいかがでしたか。

- とてもよかった…8名    よかった…2名
- あまりよくなかった…0名    よくなかった…0名
- ・メールにも必ずご返信くださり、大変丁寧に対応くださりましてありがとうございました。
  - ・欠席した時の資料、助かりました。大変お世話になりました。

13. その他感想など、ご自由にお書きください。

- ・国策ボランティアという言葉が心に残っています。
- ・グループ活動で気が付いたことだが、今まで自分の中で意識しなかったマジョリティーの立場になっていたことを発見。
- ・とにかく毎回濃かったです。

#### ② 実施主体からの研修内容結果評価

講座修了アンケートで、受講者の方から「年少者をはじめ日本語を学ぶ人の背景・心理」や「日本語を教える際のスキル」について、当初の目的を達成したとの声が多かった。満足度も非常に高く、講座の内容と講師による講義がよかったことがうかがえる。

また、講座修了後の進路として、ボランティア団体に入って活動する意志を抱いた受講者や、行政や学校への働きかけをし、積極的に活動をしようと決意した受講者もいたことは、文化庁が言う「生活者のための外国人」に対する日本語教育事業の意図を汲みとれたといえるだろう。

事務局の対応についても、高い評価をいただいた。受講者の方々との綿密なコミュニケーションや、要望にこたえてきたことが、認められたと考える。今回のような講座にかぎらず、顧客のニーズに応えられるよう努力していきたい。

#### ③ 実施主体からの外国人支援体制等今後の計画

当講座の参加受講者を募集する際、ボランティア団体の協力をいただいた経緯がある。この団体との連携を進め、現場で求められている事例について、何らかの協力をを行う。

また、当校と連携している浜松市等の団体でも同様である。

### (11) 事業の成果

#### ① 他事業との連携

当講座では、退職教師対象であるが、退職後ボランティア団体で活躍している受講者もいた。当校では、それらのボランティア団体や、講師の先生方が活躍されている団体等と今後リンクしていけるよう働き掛けていく。

#### ② 研修後の人材活用

ボランティアとして関わりを持ちたいと考えている受講者の他に、職業として日本語教師を目指していく受講者もいるだろう。日本語学校として受講者の質問、疑問に答えられるようにしていきたい。

### (12) 今後の課題

退職教員の募集には、ボランティア団体のメーリングリストや当校が懇意にしている講師の方々のご紹介に頼った形になった。結果的には10名をはるかに超える受講者が集まったが、まだまだ退職教師の一部にしか知れ渡っていなかったと感じる。今後は、多くの退職教員のかたがたに周知できるような方法を創りだす必要がある。市区町村、教育

委員会、退職教員の会などへの働きかけをしていく必要があるだろう。